

2022年度 科学研究費補助金獲得状況

	所属	職名	研究代表者氏名	研究課題名	研究種目	採択額（千円）
						当該年度 （直接経費）
新規	保健科学部	教授	堀江 修	放射温度計によるCOVID19判定ガイドラインと看護師の暴露予防システムの構築	基盤研究(C)	2,100
新規	保健科学部	教授	鈴木 高史	疾病媒介蚊のピレスロイド抵抗性に関するNa ⁺ チャネル変異の新規解析システム構築	基盤研究(C)	1,900
新規	保健科学部	教授	八木 孝和	発達障害児の咀嚼運動時の表情解析に基づく咀嚼機能の定量的評価法の開発	基盤研究(C)	1,600
新規	保健科学部	准教授	立垣 祐子	新興感染症災害における精神障害者の適応力の解明と『災害適応促進モデル』の開発	基盤研究(C)	1,400
新規	教育学部	教授	牛頭 哲宏	新教育課程に対応した読解・記述力を高める縮約基盤型eラーニングAIシステムの構築	基盤研究(C)	500
新規	口腔保健学科	教授	森谷 徳文	非コードRNAを介した新たな軟骨ホメオスタシスとその変性メカニズムの解明	基盤研究(C)	1,100
継続	保健科学部	教授	塩谷 英之	2週間ホルター心電図を用いた夜勤・交代勤務者の心拍サーカディアンリズムの長期評価	基盤研究(B)	200
継続	保健科学部	教授	大澤 佳代	薬剤耐性細菌の包括的レジストーム解析による伝播経路の探索	基盤研究(C)	1,100
継続	保健科学部	講師	中村 美紀	お口ばかん（口唇閉鎖力の低下）が幼児の成長発達に与える影響	基盤研究(C)	700
継続	保健科学部	助教	西保 亜希	歯周病原細菌が誘発する炎症応答におけるフラボノイドの作用機序解明	若手研究	1,200
継続	口腔保健学科	助教	伴仲 謙欣	対人援助職養成課程における【防災教育ミニマム・エッセンシャルズ】	基盤研究(C)	400
継続	保健科学部	教授	中田 康夫	看護基礎教育における「数理・データサイエンス教育」のミニマム・エッセンシャルズ	基盤研究(C)	900
継続	保健科学部	講師	伊東 美智子	社会人看護学生の学びを通して開発する、経験を活かしたりカレント教育	基盤研究(C)	1,100
継続	保健科学部	講師	倉本 卓	肺がん候補病変の定量解析が可能なトモンセシスシステムの開発	若手研究	600
継続	教育学部	教授	光成 研一郎	教学PDCAのためのICTを活用したカリキュラム・マップの新汎用的可視化法の開発	基盤研究(C)	500
継続	口腔保健学科	教授	福田 昌代	産学官が連携したオーラルフレイル予防の効果の検証：身体機能や栄養状態への影響	基盤研究(C)	900
継続	口腔保健学科	教授	高橋 由希子	「外国にルーツをもつ子どもと親のための口腔保健教育ハンドブック」の開発	若手研究	500
継続	保健科学部	講師	問本 弘美	DVのある家庭で生活する母子への妊娠中から産後の切れ目ない支援プログラムの開発	若手研究	200
継続	保健科学部	客員教授	井本 しおん	マクロファージを標的とした輸血後鉄過剰症治療薬の探索	基盤研究(C)	期間延長
継続	保健科学部	教授	堀江 修	新興感染症制御の国際標準化と看護学への応用を目指したサーモグラフィ	基盤研究(C)	期間延長
継続	保健科学部	教授	鈴木 高史	疾病媒介蚊の殺虫剤抵抗性獲得メカニズム解明	基盤研究(C)	期間延長
継続	保健科学部	教授	高久 圭二	大強度連続ミューオンビームによる三核子系の三体力の解明	基盤研究(C)	期間延長
継続	保健科学部	准教授	山口 有美	看護教育におけるプロンプト付加による記憶強化のための効果的なVDT画面設計	基盤研究(C)	期間延長
継続	保健科学部	准教授	立垣 祐子	災害発生時における精神障害者の適応的行動を促進させる介入支援モデルの開発	基盤研究(C)	期間延長
継続	保健科学部	助教	三浦 真希子	保育施設におけるオムツ処理規定モデルの構築	若手研究	期間延長
継続	保健科学部	講師	江口 実希	反すうに着目した新しい認知行動療法プログラムの開発と効果の検討	若手研究	期間延長
継続	教育学部	教授	大森 雅人	「幼児が法則性に気付く体験」に繋がるような環境構成を立案できる保育者の養成の研究	基盤研究(C)	期間延長
継続	教育学部	教授	中西 利恵	保育者養成課程で保護者支援を実践できる力をもつ保育者を養成する教育方法の研究	基盤研究(C)	期間延長
継続	教育学部	講師	戸川 晃子	LMSを活用した「音符の言語化」による「ピアノを用いない」ピアノ教授法構築の研究	基盤研究(C)	期間延長
継続	教育学部	講師	大城 亜水	近代日本における教化論の形成と展開―労働と生活をつなぐ―	若手研究(B)	期間延長
継続	看護学科 通信制課程	准教授	山岡 紀子	極および超低出生体重児の18か月頃の行動と幼児期後期の発達特徴との関連の検討	基盤研究(C)	期間延長